

マイナンバーあるある

マイナンバーが
12ケタの番号というのは
わかったけど…
でも、どうしてできたんだろう…



たしかに、
どうしてひとりひとりに
番号が必要なんだろう？



簡単にいうと、役所などで「本人
かどうか、個人を特定しやすくす
る。」ということです。

マイナンバーが導入される前は、それぞれ
の行政機関が、それぞれの番号で個人の情報を
管理していたので、「その人が本当にどれ
だけお金をもらっているのか」「どんな行政
サービスを受けているのか」など、把握する
のに多くの時間と労力を費やしていました。
今後はマイナンバーによって、情報の確認が
しやすくなるので、社会保障の給付を適正に
行うことができるようになります。また、税や社会保障の
負担を不当に免れることや、不正受給などがなくなり、公
正・公平な負担と給付が受けられるようになります。



マイナちゃん、
もう少し、
詳しく説明してくれる？



個人を特定しやすくなることによ
って、役所などは困っている人
を見つけやすくなります。世の中

には、必要な支援を受けられるのに受けてい
なくて困っている人もいます。マイナンバー
があれば、そのような人に必要な支援や給付
を行うことができるようになります。

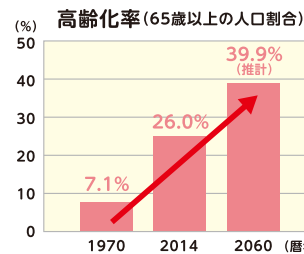
それに、これからの日本はお年寄りが増え
て、若者が減るといわれています。助けが必要
な人が増えて、支援に必要なお金(税)を納
めてくれる人が減ってきているともいえま



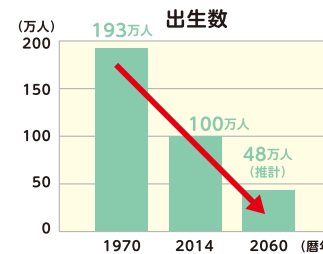
す。限られたお金を本
当に必要なとしている
人への支援に使うた
めに、このマイナン
バー制度がつくられ
たといえます。

少子高齢社会が抱える課題について

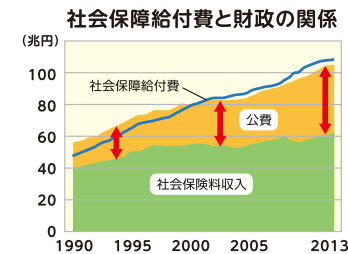
現在の日本はお年寄りが増え、子供の数が減る「少子高齢化」が進んでいます。高齢化によって増える社会保障の費用を、若者が支えるにも限界があるので、新しい仕組みが必要です。「マイナンバー制度」はこうした社会の変化に対応するために導入されました。



高齢化率(65歳以上の人口割合)
出典/総務省「国勢調査」、総務省「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」



出生数
出典/厚生労働省「人口動態統計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」

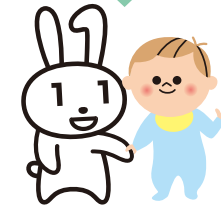


社会保障給付費と財政の関係
出典/国立社会保障・人口問題研究所「2013年度社会保障費用統計」

2060年には10人に
4人が高齢者に!



さらに、生まれる
赤ちゃんの数は
今の半分に!



社会保障給付費は、社会
保険料だけではまかなえず
公費の負担が増えている



マイナンバー制度の導入で目指す社会

マイナンバー制度の導入によって、所得の状況や社会保障の受給状況を正しく把握できると、税や社会保障の負担を不当に免れることや不正受給の防止、そして本当に困っている人に必要な支援ができるようになります(公平・公正な社会の実現)。また、行政手続のときに、必要な書類が減るなど国民の負担も減りますし(国民の利便性の向上)、業務のムダを減らすことにもつながります(行政の効率化)。



マイナンバー制度の3つの目的

- 公平・公正な社会の実現
- 国民の利便性の向上
- 行政の効率化

指導の
ポイント

以下の点を中心にご説明ください。

- A B C 制度導入の背景を考えさせる
- D 日本が抱える課題のために新しい仕組みが必要であったということ
- E 制度導入の「3つの目的」を理解させる